

日赤の森

TAKATSUKI
RED CROSS
HOSPITAL
NEWS from HOSPITAL

No.81

2011



www.takatsuki.jrc.or.jp

特集 冬の感染症 対策について



あけまして おめでとう ございます



院長
田 寫 政 郎

昨年の大きなニュースは 10 月に放射線治療棟が完成し、当院内で実施できるようになりました。当院では、平成 14 年よりがん診療連携拠点病院としてがん診療の充実に努めてまいりましたが、昨年度は放射線治療を院内で実施していなかったため認定更新を辞退せざるをえませんでした。

しかし、今年からはがんの 4 大治療法である手術、化学療法、放射線治療、緩和ケア治療とがん治療の全てを院内で提供できる体制が整いました。

内視鏡手術の分野でも先進医療である大腸 ESD の実施施設に消化器内科が認可されました。がんの手術も患者さんの負担が少ない内視鏡手術、胸腔 / 腹腔鏡視下手術から従来の開腹 / 開胸手術まで全て当院で実施できる体制になりました。また、患者様への被曝量を抑えながら精度を増した肺がんの早期発見に有効な低線量 CT による肺がん健診が 1 月から健診事業に加わります。消化器がんは言うまでもなく肺がんをはじめあらゆるがんについて早期に診断し適切な治療をご提供できる病院として地域の

皆様にご利用いただけるようさらに充実を図っていきたいと考えています。

また血管造影装置も更新し、64 列 CT 装置、心筋シンチ検査などとあいまって心筋梗塞 / 狭心症の診断・治療体制もさらに充実し 24 時間の対応が可能になっています。

1 月から小児科にも気鋭の若手医師が着任しました。4 月には神経内科の開設を予定しています。

これからもあらゆる疾患の急性期 / 増悪期に対応できるよう各診療科の一層の充実に努め地域の方々に誇りにしていただける病院を目指していきたいと思っております。

また、老朽化してきた病院の建て替え計画を早く進めていきたいと考えております。

しかし、医療を取り巻く経営状況は厳しく、また医療や医療従事者に対する目にも厳しいものがあります。職員一同皆様に良質の医療を受けていただけるように一層努力してまいりますので、本年も地域の皆様方の温かいご支援をお願い申し上げます。

平成 23 年初春

新任の挨拶

核医学科部長

山室正樹



この度、核医学科部長として赴任致しました山室です。核医学、MDCT、MRI および functional imaging が主な専門です。

さて核医学検査と聞くと、一般的にはどのような検査か判り難いのではないかと思います。一言で説明を試みますと、「アイソトープというごく微量の放射線を含むお薬を注射して、そのお薬の体の中の集まる場所や量などを調べて（つまり体のどこにどの程度お薬が集まるのかを画像にして）、骨代謝や心筋血流、脳血流等の様々な機能情報を得て病気の診断や病勢の把握等に役立てていく検査」となります。放射線の量はごく微量で副作用もほとんど無い大変安全な検査です。主に心筋梗塞、狭心症

などの心臓の病気、アルツハイマー病や脳血管障害などの脳の病気や骨の病気に利用されています。この様なPET以外の一般核医学検査に関しては、近隣医療機関では現在の所、当院のみで検査が可能となっています。最近では画像処理技術の進歩により核医学とCTやMRIの画像を workstation 上で融合させてより正確な診断を行う事が可能となりつつあります。当院でもこの融合画像に関しては技術的な検討を始めた所です。これから

も地域の多様なニーズに真摯にお応えしながら最適な画像診断を提供し続けて行く事が当院の課題かと思われまします。今後ともぜひ宜しく御願い致します。



糖尿病ケアチームの紹介および活動内容

糖尿病治療の成否は、患者様自身が治療法を十分に理解し、日常生活のなかでいかに実践できるかにかかっています。一言で自己管理といってもこの内容は、食事療法や運動療法に加え、多種類の薬剤の服用、インスリンの自己注射等々多岐にわたります。長い間には、療養に対する意欲の低下を来すことも生じてきます。

このような患者様のサポートを行うためには、多方面からの療養指導が必要となります。多くの職種が医師を中心としたチームを形成し、それぞれの専門性を活かした療養指導を行うことにより、患者様中心の医療を実現することが可能となります。

当院では、平成21年6月に医師、看護師、栄養士、検査技師、薬剤師、理学療法士で構成された糖尿病ケアチームを発足しました。メンバーのほとんどが糖尿病療養指導士の資格を有しています。この糖尿病ケアチームにより、患者様の生涯にわたる身体的、社会的、

そして精神的にも健やかで豊かな糖尿病をもった人生を送るための、きめ細やかなサポートが可能となりました。

現在、主な活動として月1回行われている糖尿病教室の企画や講師としての参加、糖尿病教育入院時に行われる各患者様へのカンファレンスの参加等で、指導用パンフレットの作成も行っています。糖尿病教育入院時には病棟看護師による指導のほかに、糖尿病ケアチームメンバーによる面談や指導が行われます。面談や指導で得られた情報をもとに患者様を含めたカンファレンスを行い、退院後も良好な療養生活が継続できるようサポートを行っています。また平成21年11月からは、看護師による糖尿病看護外来を開設し通院中の患者様のサポートを行っています。

今後、さらに糖尿病ケアチームの充実をはかり、1人でも多くの糖尿病患者様が良好な療養生活を送ることができるよう支援をおこなっていききたいと思います。

平成22年度 大阪日赤社員のつどいが開催されました

医事課 三上 貴政

11月16日、ホテルニューオータニ大阪において大阪日赤社員のつどいが開催されました。

この式典は、日赤の事業資金にご協力をいただいた赤十字社員や寄付者、ならびにボランティアとして活動に貢献いただいた方など、赤十字の活動に多大なご功労がありました方々に対して、感謝の意を伝えることを目的として、大阪では年に一度開催しております。

当日は、高円宮妃殿下他、錚々たる己が代表の方々が来賓され、800名前後におよぶ巨大な式典である事を知ると、これを支部単位で執り行っていることに驚愕すると同時に日本赤十字社の広大さを実感します。

式典では、日赤大阪府支部管内の職員が受章者の受付や徽章の受け渡し、会場案内を行いました。受章の方々も時間的に余裕を持って来られている事もあり、比較的落ち着き、混乱なく終了しました。

式典自体の拝見はできませんでしたが、多くのスタッフの方々の一つの事を目的とし成功させるという事と共に“日本赤十字社”を支えていただいている方々とふれあえる事は、職員にとっても貴重な経験となります。

改めて、常日頃赤十字活動にご協力いただく皆様方に感謝申し上げます。



先進医療の大腸腫瘍に対する 内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) について

消化器科 神田 直樹

消化管腫瘍の内視鏡治療は、腫瘍の周りに金属の輪を巻きつけて焼切る EMR 法で施行されてきました。多くの腫瘍はこの方法で切除が可能ですが、大きいものや、腫瘍の下への液体の注入で挙上が悪い腫瘍は、切除できなかったり、多分割切除となり根治度の判定が困難になる場合が少なからずありました。これに対し、特殊なナイフで腫瘍の周囲を切開し、内腔側からはがし取る ESD 法が開発され、上記のような腫瘍に対しても内視鏡治療が可能となりました。ESD は非常に有用な方法のため、2006 年には早期胃癌に対し、2008 年には表在食道癌に対し保険承認されました。これに対し、大腸腫瘍に対する ESD は、壁が薄く走行が複雑な臓器特性のため、手技的難易度が高く、穿孔・腹膜炎の合併症リスクも高いため、保険承認はされず、先進医療として基準を満たした認可施設でのみ施行することとなりました。当院は大腸 ESD の先進医療実施施設として認可を受けており、大腸腫瘍の治療の選択肢がすべて施行可能となっています。このため、病変の形状、部位を考慮して、EMR, ESD, 腹腔鏡下手術の中から、症例に応じて、最も適切な治療法を選択できます。

* 大腸 ESD 自体は先進医療として自費となりますが、保険診療と併用でき、その他の入院費用はすべて健康保険が適応されます。

豆知識

先進医療とは、以前は高度先進医療とも呼ばれ、新しい医療技術の出現・患者ニーズの多様化等に対応するために、一般の保険診療で認められている医療の水準を超えた最新の先進技術として厚生労働大臣から承認された医療行為のことを言います。

- 1 「先進医療に係る費用」は、患者が全額自己負担することになります。
「先進医療に係る費用」は、医療の種類や病院によって異なります。
- 2 「先進医療に係る費用」以外の、通常の治療と共通する部分（診察・検査・投薬・入院料等）の費用は、一般の保険診療と同様に扱われます。
つまり、一般保険診療と共通する部分は保険給付されるため、各健康保険制度における一部負担金を支払うこととなります。

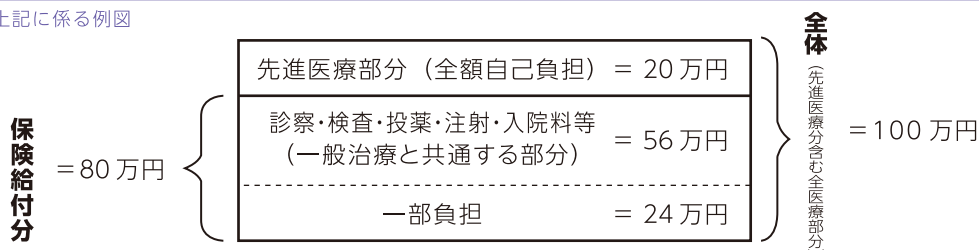
例 総医療費が 100 万円、うち先進医療に係る費用が 20 万円だったケース

1. 先進医療に係る費用 20 万円は、全額を患者が負担します。
2. 通常の治療と共通する部分（診察・検査・投薬・入院料*）は、保険として給付される部分になります。

保険給付分 * = 80 万円（10 割）
7 割にあたる 56 万円が各健康保険制度から給付。
3 割にあたる 24 万円が患者の一部負担金。

* 保険給付に係る一部負担については、高額療養費制度が適用されます。

上記に係る例図



医療安全だより シリーズ

冬の感染対策について



風邪・インフルエンザ、感染性腸炎など冬の感染症の季節になりました。

手洗いや咳エチケットなど一人ひとりの予防が

「感染症にかからない」、「周囲の人にうつさない」 ためにとても大切です。今回は咳エチケットについてご紹介します。

咳エチケットについて



咳・くしゃみが出るときは
マスクを着用しましょう



マスクをするときは
口や鼻を覆いましょう
しっかり覆いましょう



マスクをしていない時は
肘で押さえましょう
肘で防ぎましょう



咳・くしゃみはティッシュで
押さえましょう



使用したティッシュは
ごみ箱に捨てましょう



手洗いを
しっかりしましょう

● 来院される方へお願い ●

病院内は入院患者、外来患者、家族、面会者、医療者など多くの人が入り出します。病院内での手洗い、咳エチケットは感染予防のためにとても重要です。当院では各病室の入り口にアルコール手指消毒剤を設置しています。面会などに来られた場合、病室の出入りの際にご使用下さい。咳などがある方はマスクを着用して下さい。

院内キャンドルサービス

看護副部長 吉田 篤美



例年恒例で行っております院内キャンドルサービスは、患者様にひと時、穏やかな時間が来ることを願い、今年度も12月22日午後6時より開催することが出来ました。外部より的一般参加ボランティアを迎え総勢122名、各病棟を3グループに分かれて蝋燭を手に聖歌を歌って回りました。病棟の電灯を落とし蝋燭の灯が浮かび上がり、厳かな雰囲気になりました。患者様からは、『きれい、癒される』『楽しい』『などの声が聞かれ、聖歌隊に初めて参加した職員も感激いたしました。毎年参加してくださる一般参加ボランティアの方々のご理解とご協力があつてこそと、大変感謝いたしております。紙面を借りてお礼申し上げます。

女声合唱団「コラールあぶ山」

第12回 Christmas Concert 開催

歳瀬も迫る昨年12月16日17時より、女声合唱団「コラールあぶ山」40名のみなさんによるクリスマスコンサートが薬剤部FAX処方箋コーナー前で開催されました。

オープニング、ハチャトリアン作曲の「ワルツ」（仮面舞踏会より）をはじめ、F. ショパン作曲の「ノクターン op9-2 変ホ長調」やクリスマス聖歌メドレーに、集まった約80名の入院患者さん等は、一足早いクリスマスの余韻にひたっておられました。



平成22年10月～12月開催の行事紹介

サフラン コンサート (11月25日開催)



吹田 ギター アンサンブル (10月19日開催)

男声合唱団 コールバックス (10月15日開催)



赤十字健康教室

平成23年 1月～3月

日常生活の中で健康ほど大切なものはありません。病院は治療の場であるとともに、病気の予防と健康増進の場でもあります。市民の皆様健康な生活を送っていただくことを願って「赤十字健康教室」を開催いたしますので、お気軽にご参加下さい。

日 時	テ ー マ	講 師
1月25日(火)	お薬の話「高齢者と薬」	薬剤部 部長 荒谷 忍
2月22日(火)	訪問看護について 「住み慣れた家ですごし続けるために」	訪問看護ステーション 室長 山本 裕恵

時 間 午後2時から午後3時30分まで

場 所 高槻赤十字病院 緩和ケア病棟 やすらぎホール

受 講 料 無料

申 込 方 法 高槻赤十字病院 (TEL 696-0571) 医療社会事業部 社会課までお申込み下さい。



赤十字在宅介護教室

平成23年 1月～3月

在宅介護教室では、ボランティア活動、家庭での介護補助等をされている方を対象に、家庭で生活される患者様が寝たきりになることなく、その人らしい生活が送れるように、専門家（理学療法士・看護師・管理栄養士・社会福祉士等）が、やさしく、わかりやすく、介護のポイントをお話しします。

日 時	テ ー マ	講 師
第10回 1月21日(金)	排泄ケアと排泄ケア用品の使い方について	皮膚・排泄ケア認定看護師
第11回 2月18日(金)	薬の管理と飲ませ方	薬剤部（薬剤師）
第12回 3月18日(金)	車椅子、杖を使用している人への支援	リハビリテーション課（理学療法士）

時 間 午後2時から午後4時まで

場 所 高槻赤十字病院 緩和ケア病棟 やすらぎホール

受 講 料 無料

申 込 方 法 高槻赤十字病院 (TEL 696-0571) 医療社会事業部 社会課までお申込み下さい。



糖尿病教室

平成23年 1月～3月

日 時	テ ー マ
1月11日 (火)	「糖尿病の最新情報」
	食事療法について1
	シックデイと運動療法について
	糖尿病食試食会Q&A
	ミニ健康講座（糖尿病と泌尿器疾患）

日 時	テ ー マ
2月8日 (火)	シックデイと薬物療法について
	どうしたらいいシックデイ
	食事療法について2
	糖尿病食試食会Q&A
	ミニ健康講座（糖尿病と足病変）

日 時	テ ー マ
3月8日 (火)	シックデイと検査について
	シックデイの食事を考えよう
	食事療法について3
	糖尿病食試食会Q&A
	ミニ健康講座（糖尿病と骨折）

会 場 高槻赤十字病院 3階 講義室

時 間 午前11時から午後1時30分まで

講 師 医師・糖尿病看護認定看護師・薬剤師・糖尿病療養指導士・管理栄養士・理学療法士・臨床検査技師

会 費 800円（材料費）

申 込 方 法 高槻赤十字病院 (TEL 696-0571) 医療社会事業部 社会課までお申込み下さい。

なお、食事の準備の都合上、キャンセルは前日までにお願い致します。
連絡なく欠席された場合は、次回からお申し込みいただけないことがあります。



阿武野中学校福祉体験学習

(11月11日・12日)



平成22年度 病理解剖者合同追悼式

平成22年11月29日、平成22年度病理解剖者合同追悼式がしめやかに執り行われました。

ご献体いただいた二十柱の皆さまのご芳名が読み上げられた後、全参加者による黙祷が捧げられました。続いて、院長による追悼の言葉、弦楽二重奏による献奏の儀の後、ご遺族、病院職員による献花が捧げられました。

人の病気を対象とする臨床医学に携わるすべての医療従事者にとって、人体のすべての器官を系統的総合的に調べる病理解剖は、病気に對する理解を深めさせ、病因の解明や新たな治療法の考案につながるものとも大切な機会です。病理解剖という貴重な研鑽の場を与えていただいたことに感謝するとともに、献体頂いた皆さま方の尊いお気持ちにお答えできるように職員



一同、診療、看護になお二層励み、医学・医療の進歩発展に努める思いを新たにすることがとなりました。ご遺族の方々には、お悲しみながら病理解剖をご承諾いただきましたことに心から御礼を申し上げると共に、二十柱の御霊の永久に安らかに眠られんことをお祈り申し上げます。

患者・家族向け図書コーナーのご案内

2010年10月より、患者さまご自身・ご家族が病気や治療のことを調べ、情報を得ることが出来る様、医療に関する書籍やインターネット端末を設置した図書コーナーを開設いたしました。現在がん関係書籍を中心に蔵書し、冊数はまだまだ少ないのですが徐々に充実させていく予定です。もし不要になりました医療関係図書等ございましたら**寄贈を受け付けております**ので、ご協力いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

ご利用時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後1時
(土日・祝祭日・病院の休日を除く)

場所 病院1階 ファックスコーナー前

お問い合わせ 高槻赤十字病院 診療情報管理課図書係



特定健診・高槻市がん検診のご予約・お問い合わせ専用電話を設けました

予約申し込み等のご用件は、

072-696-3096 (医事課担当窓口) までご連絡ください



日本赤十字社 高槻赤十字病院

〒569-1096 大阪府高槻市阿武野 1-1-1
TEL 072-696-0571 (代表)
URL <http://www.takatsuki.jrc.or.jp>
mail trc@takatsuki.jrc.or.jp
発行責任者 事務部長 宮前 茂

高槻赤十字病院の理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神に基づき、高度で安全な医療を提供し、地域の人々が誇りにする病院となるよう努めます。

高槻赤十字病院の方針

1. 患者さまの人権と意思を尊重し、患者さま中心の医療をおこないます。
2. 一人ひとりの患者さまを全職員が支援する、チーム医療をおこないます。
3. 患者さまのホームドクターと緊密に連携し、地域で完結する医療をおこないます。
4. 常に向上心と研究心をもち、最高最善の医療が実現できるように努めます。
5. 健全な病院経営と地域に貢献できる医療従事者の育成に努めます。
6. 災害救護活動をはじめとする赤十字に課せられた使命を果たします。

モバイルサイト

携帯電話でQRコードを読み取ってアクセスしてください

病院情報は
こちらから！

